

第17回東京支部学術集会

学術集会会長：公益財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院

理事長・院長 飯田修平

2017年

2月25日

(土)、第

17回東京

支部学術

集会を新

宿区の東

医健保会

館で開催

いたしました。「医療事故調査制度への適切な対応」をテーマに企画し会長講演は「医療事故調査制度の運用における問題点」でした。基調講演は宮澤 潤弁護士に「医療事故調査制度成立の経緯と課題」、特別講演は中央大学理工学部、中條武志教授に「ヒューマンエラーと医療の安全確保」をご講演いただきました。

シンポジウムは、「安全確保はチーム医療の実践から」をテーマに、ひたちなか総合病院 永井庸次院長、練馬総合病院薬剤科 金内幸子科長、医療法人社団永生会 安藝 佐香江統括看護部長に実践に基づいた事例紹介いただきました。

一般演題は9セッションに分かれ49の発表をしていただきました。今回の学術集会では212名の方々にお集まりいただきました。最後に本学術集会が盛会のうちに終了できましたことを、関係各位に厚く御礼申し上げます。

第14回京滋支部学術集会

学術集会会長：社会医療法人誠光会理事長 柏木厚典

2017年2月25日(土)に、第14回京滋支部学術集会を京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)にて開催いたしました。「激変する医療環境を生き抜くための創造と挑戦」をテーマに465名が参加。一般演題142題が発表され、例年と同様に活発な学術集会となりました。特別講演として、福井県済生会病院院長 登谷大修先生に「福井県済生会病院の理念の実践と変革～病院の差は職員の差～」という演題でご講演いただくとともに、基調講演では学術集会会長より「激変する医療環境を生き抜く草津総合病院の“V”字回復への取り組み」をご紹介させていただきました。また、ランチョンセミナーでも改革への種々の取り組みが3演題発表され、いずれの会場でも活発な討議がなされました。

最後に、本学術集会開催にあたりご支援いただきました支部役員の皆様、準備と運営にご尽力戴きました

草津総合病院の皆様、そしてご協賛いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

第16回福岡支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構小倉医療センター副院長

山下博徳

2017年2月25日(土)、北九州国際会議場において日本医療マネジメント学会第16回福岡支部学術集会を開催いたしました。今回は「心の通った医療マネジメントを考える」をメインテーマとし、県内全域より37題の一般演題の応募と180名の参加をいただきました。シンポジウムには熊本地震の経験を踏まえて「熊本地震を振り返って～多職種連携のチーム医療を考える～」をテーマに医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職のそれぞれの立場から発表していただき、その後全体討論を行いました。また、特別講演では豊の国医療教育ボランティア会の野崎公敏先生より「ロールプレイの企画と運営」と題してご講演していただき、今後のロールプレイ実施に大変有意義な内容でした。

最後に、本学術集会開催にあたりご支援とご尽力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

第11回兵庫支部学術集会

学術集会会長：地方独立行政法人明石市立市民病院

理事長 藤本 莊太郎

2017年

2月26日

(日)に明

石市生涯

学習セン

ターを会

場として、

日本医療

マネジメ

ント学会

第11回兵



会場風景

庫支部学術集会を開催いたしました。「地域医療構想下で生かす医療マネジメント」をメインテーマに、455名の参加をいただきました。

特別講演は3つの領域を代表するエキスパートにお願いをし、医療政策については兵庫県健康福祉部医監(元近畿厚生局長)の山本光昭先生から、医療介護については在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス代表の宇都宮 宏子先生から、そして病院経営については済生会神奈川県支部長の正木義博先生からそれぞれ貴重なお話をお聴かせいただきました。また、ランチョンセミナーも3題のご講演をいただいたほか、一般演